

会員だより

最近の測量機器（杭ナビ）について

会員の皆様こんにちは。

今年9月から沖縄防衛局発注の雨水排水整備工事へ応援要員として配置になりました。

図面を把握したり、現場の状況を把握したりして2週間程度経過してから、これから施工する予定の地盤改良工とボックスカルバート工を管理することになりました。

地盤改良工、ボックスカルバート工の施工に関して、測量により改良範囲位置出し、改良完了箇所の基礎材丁張り出し、基礎コンクリートの位置出し、ボックスカルバートの設置位置出し等がありますが、写真管理もあるので下請の作業の手を止めてしまわないか懸念していました。

そこで杭ナビという自動追尾型の測量機器があると聞きつけたのでレンタルしてみました。

従来の測量だとトータルステーションを操作する人とピンポールプリズムを持つ手元で測量していましたが、杭ナビは、操作する人だけで測量ができ、測量と写真撮影が分かれて作業できるので作業員の手を止めることもなく、測量と写真管理が行えています。

株式会社 大寛組 代表取締役 大濱 均

今後はまだ未経験のICTやBIM・CIMを活用した現場で、実際に生産性や施工性の向上に繋がるのかを経験してみたいと思いました。

【工事部 新垣 純治】



▶杭ナビによる基礎コンクリート通り出し



▶杭ナビによるボックスカルバート設置位置出し



▶杭ナビ操作画面（ボックス設置位置）

会員だより

NAHAマラソン

道建協会員の皆様、こんにちは
先日開催されましたNAHAマラソンについて私目線で紹介したいと思います。

NAHAマラソンは奥武山公園を9時にスタートする制限時間6時間15分のフルマラソン大会です。

各地で歌やエイサーなどのイベントがあり、7km地点では名物のYMCAが待っています。

曲に合わせて皆でYMCAと無駄な体力を消費しますが何とも言えない一体感が得られます。

10kmから20kmまでは殆どが登坂で特に中間地点までの残り3kmは心が折れそうになる坂道が延々と続きますが制限時間も迫っている為に歯を食いしばって上って行きます。

中間地点の平和記念公園に入り、爽やかな笑顔の高校生達(人間の鎖役)とハイタッチ、公園を出ると制限時間に間に合った安心感で急に疲れが出始めます。

この辺りから私の様に遅いランナーは記録より記憶、完走から完歩へと目標修正を行い沿道から出される食べ物やお菓子を楽しみつつゴールへと向かいます。

大成ロテック 株式会社 沖縄営業所長 下川 淳二

歩いては食べを繰り返し、いよいよ奥武山に戻って来ると、沿道からハイタッチを求められ、苦しい中でも笑顔で走り抜けなければならない使命感に駆られます。

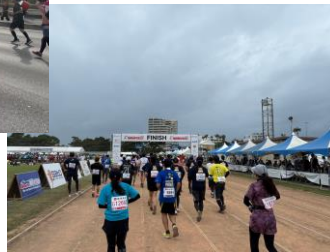
最後の関門を潜り抜けると後はトラックを回ってフィニッシュ!

私調べでは日本一楽しいマラソン大会です。ぜひ今年是一緒に走りましょう。

【営業所長 下川 淳二】



▶YMCA



▶フィニッシュ

活動報告・トピックス

令和5年度安全パトロール

(一社)日本道路建設業協会沖縄支部は12月7日会員企業の施工現場の安全パトロールを実施し、勝連安全委員会委員長、黒島副委員長外3名で現場の安全を点検しました。

パトロールは、支部会員の安全意識の高揚を図り、無事故・無災害での工事完了を目的に毎年実施しております。

今回は南部国道事務所管内の小祿道路、浦添北道路などの工事現場7箇所を訪問し、建設機械の安全使用や整理整頓状況などをチェックしました。

最後に、委員長より「各現場の安全管理状況は総じて良好であると同時に、『見える化』に配慮した標識・標示の推進をするなど現場で働く作業員、一般通行車両へのアピールも大いに役立っており、ますます現場における安全意識の高さが伺えました。」とのコメントがありました。



▶工事概要説明



▶パトロール実施状況



▶パトロール実施状況



▶足場状況、突起物の見える化が良好

第208回道路美化・清掃活動

今年最後の清掃活動



12月19日(火)10:00から、道路美化・清掃活動ボランティアをさわやかな青空のもと21名/18社参加し、活動が無事終えることができました。

皆様 お疲れ様でした。これで近くでの正月の参拝も気持ちよくできるのではないのでしょうか。

今月の予定

- ①令和6年新春講演会・懇談会
1月12日(金)17:30～ ザ・ナハテラス
- ②第209回道路美化・清掃活動
1月16日(火)10:00～11:30明治橋周辺国道

○支部入会会員紹介○

令和6年1月1日付けて、『株式会社 ガイアート 沖縄営業事務所 様』がご入会されました。この加入で支部会員がこれまで最大の43社となりました。

手づくり郷土（ふるさと）賞

地域の個性・魅力を創出し、良質な社会資本及びそれと関わりをもつ優れた地域活動を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力ある郷土づくりに資することを目的として、昭和61年度に創設され、令和5年度で38回目となる国土交通大臣表彰です。

昨年度に続き、沖縄から『国場川河口域で自然・環境学習の場づくり活動』（特定非営利団体法人沖縄環境クラブ）が選定されました。（参考）手づくり郷土賞の過去の受賞案件は以下のURLに掲載しています。

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/tedukuri/>

国場川河口域で自然・環境学習の場づくり活動



<活動内容>
平成11年に設立し、平成14年にNPO法人の認証を取得。地域の自然と環境に対して、実践活動を通して自然環境への理解を深め、自然と環境の保全及び環境教育を推進することを目的に活動。同年には活動地域である灌漑地「瀧湖」がラムサール条約に登録。
国場川河口域にある緑地帯の美化活動(総数1,000本のサガリバナ等を植栽)や水辺の緑化ボランティア活動を行っており、毎年度延べ100人を超える様々な世代の地域住民や団体等とコミュニケーションをとりながら継続的に活動を実施している。

編集室から/Y.S

『沖縄の桜』

沖縄の桜は台湾や中国南部が原産で、濃いピンクが特徴のカンヒザクラ(寒緋桜)と呼ばれる種類です。

例年1月末から2月頃開花し、全国で最も早く開花することで知られています。

通常、南から北へと北上する桜前線とは反対に、北から南へと南下します。

カンヒザクラの花言葉は「あでやかな美人」。うつむいて控えめに咲きますが、遠くから見ても濃いピンクがよく目立つその姿にぴったりの花言葉です。「どこよりも早く桜を楽しめる、沖縄でのお花見、一番乗り!」しましょう。

